

Suguru Yonezawa Tenor Recital

Suguru Yonezawa, tenor

Etsuko Yonezawa, soprano

Yoshiko Imaoka, piano

よね

ざわ

すぐる

米澤 傑

テノール・リサイタル

今岡淑子 ◆ ピアノ / 賛助出演: 米澤悦子 ◆ ソプラノ



2023年 7月14日 金 19:00開演

ハクジュホール

開 HAKUJU HALL

◆ マネジメント:

(株)カメラータトウキョウ

- G. プッチーニ: オペラ「トゥーランドット」第3幕より「誰も寝てはならぬ」
オペラ「トゥーランドット」第1幕より「お聞きください、王子様」……♥
- G. ヴェルディ: オペラ「トロヴァトーレ」第3幕より「見よ、恐ろしい炎を」
- E. P. トステイ: 魅惑 (R. E. バリアーラ 詞)
マレキアーレ (S. デイ ジャーコモ 詞)
かわいい口もと (G. ダンヌンツィオ 詞)
秘密(ひめごと) (L. ステケッティ 詞)
- C. グノー: オペラ「ファウスト」第3幕より「この清らかな住まい」
オペラ「ファウスト」第3幕より「なんと美しいこの姿」『宝石の歌』……♥
- G. プッチーニ: オペラ「ラ・ボエーム」第1幕より「冷たき手を」
オペラ「ラ・ボエーム」第1幕より「おお、愛らしい乙女」[二重唱]
- 休憩 ✦ *Intermission*
- G. プッチーニ: オペラ「トスカ」第1幕より「妙なる調和」
オペラ「トスカ」第1幕より「二人の愛の巣へ」[二重唱]
オペラ「トスカ」第3幕より「星は光りぬ」
- E. P. トステイ: 夢 (L. ステケッティ 詞)
最後の歌 (E. チンミーノ 詞)
君なんかもう (C. エルリーコ 詞)
私の歌 (E. チンミーノ 詞) [二重唱]
- E. デ クルティス: 忘れな草 (D. フルノ 詞)
- S. カルデyro: カタリ・カタリ (R. コルティフェッロ 詞)
- E. デイ カプア: オーソレミオ (G. カプッロ 詞) [♥ … ソプラノ]

今後のコンサート予定 ～ オペラアリアと二重唱の夕べ ～

2023年11月17日(金) 19:00開演(18:30開場)@ハクジュホール

❖ 出演: 米澤傑(テノール) / 米澤悦子(ソプラノ) / 今岡淑子(ピアノ)

❖ 演奏予定曲目: 歌劇「アイダ」より「清きアイダ」「死の石は私の上に閉じられた～おお、大地よ、さらば」
歌劇「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」「お聞きください、王子様」
歌劇「マノン・レスコー」より「何と素晴らしい美人」「あなた、あなた、いとしい方」他

❖ マネジメント・お問合せ: (株)カメラータ・トウキョウ ☎03-5790-5560

誰も寝てはならぬ：美しいトゥーランドット姫の三つの謎を見事に解いたダットンの王子カラフは、姫に“私の名前を答えよ”と謎を出し、若者の名前が判るまでは“誰も寝てはならぬ”という姫の御触れを聴きながら、勝利を確信してこのアリアを歌います。

お聞きください、王子様：トゥーランドット姫を手に入れるために謎解きに挑もうとするカラフ王子に対して、謎が解けない時は生命を落とし自分たちも死ぬだろうと、密かにカラフを慕い続けて来た哀れな女奴隷リュウが悲しい胸の内を歌い上げ、泣き崩れてしまいます。

見よ、恐ろしい炎を：吟遊詩人マンリーコは、愛するレオノーラを恋敵ルーナ伯爵から救いますが、伯爵がマンリーコの母親を処刑すると知らされ、怒りに燃えてこのアリアを歌います。

魅惑：貴女がくれた花に触れると、私の心は震え、その香りに私の想いを乱した。貴女の宿命的な瞳に何が宿っているのか。貴女の言葉には何が隠されているのか。貴女が私を見ると、陶酔が私を襲い、貴女が語りかけると、私は死ぬ想いだ。

マレキアーレ：マレキアーレに月が昇ると、窓辺で私の情熱が掻き立てられる。目を覚まして…私のカルリよ…大気は甘い！

かわいい口もと：小さい花のような、ほんの少し色褪せたかわいい貴女の口もと！ 小さいバラのようなその口もとに似た小さな口づけを…

秘密（ひめごと）：私はその女（ひと）を愛しているが、その秘密を打ち明けられない。顔をじっと見つめていたいのだけれど、心は震え、目も上げられない。

この清らかな住まい：「ファウスト」は、ゲーテの劇作を題材にしたフランスのグランドオペラを代表する壮麗、華麗、幻想的な作品です。悪魔メフィストフェレスから魂と引き替えに青春を取り戻したファウストは、マルガレーテの家の前でその清らかさを讃えて「この清らかな住まいよ。ここに無垢で聖なる魂が宿る！」と、このアリアを歌います。

なんと美しいこの姿「宝石の歌」：ファウストはマルガレーテを見て魅了され、宝石のたくさん入った箱をマルガレーテの家の前に置きます。箱を見つけたマルガレーテは「こんな宝物を今まで見たことがない」と喜び、宝石を身につけて、オシャレを楽しみながら歌います。「ああ！ 私は鏡に映った自分が何ときれいなのかを見て微笑んでしまうの…」。マルガレーテはためらいながらもファウストの愛を受け入れるのです。

冷たき手を：「ラ・ボエーム」の第1幕、お針子の娘ミミは詩人ロドルフォのところにローソクの火を借りに行きますが鍵を落としてしまいます。風で火が消えてしまい二人で探しているとき手が触れ、ミミの手を握って自分の身の上話を語ります。

おお、愛らしい乙女：ロドルフォに身の上を話したミミ…恋に落ちた二人は、この二重唱「おお、愛らしい乙女」を歌います。

妙なる調和：「トスカ」の第1幕、画家カヴァラドッシは壁画のマグダラのマリア像を描いていますが、モデルはこの教会に祈りに来ている見知らぬ美人なのです。彼はメダルの中の恋人トスカの肖像と見比べながら「見知らぬ美人は金髪で青い眼、トスカは黒髪で黒い眼」とこのアリアを歌い、いかなる時でも変わることのないトスカへの愛を誓います。

二人の愛の巣へ：カヴァラドッシが描いている金髪で青い眼の美人のモデルを言い当てて、やきもちを焼き、「絵のモデルの眼の色をトスカと同じ黒にしてね」と責めるトスカをカヴァラドッシはなだめます。気を取り直したトスカは、カヴァラドッシを別荘に誘い、この二重唱「二人の愛の巣へ」を歌います。

星は光りぬ：反逆罪で処刑される画家カヴァラドッシが愛するトスカへの手紙を書きながら、“絶望の中で死んでゆく自分の命をこんなに愛おしいと思ったことはない”と歌います。

夢：私は、貴方が、主に祈る聖者のように跪いている夢を見た。貴方は私の足許に身を屈めて、誓いの印となる眼差しを乞い求めていた。私は、自分を誘惑する気持ちとたたかい、苦しみと死を味わったが、自分に打ち克っていた。でも、貴方の唇が私の顔に触れ、心が私を裏切り、私は貴方に腕を差し伸べた…でも、それは夢で、そのすばらしい夢は消えた！

最後の歌：ニーナ、君は、明日、花嫁になるそうだね。でも、僕はまだセレナータを歌うのだ。明日、君は、もう僕たちの昔の愛のことは考えないだろう。でも、夜も昼も、情熱に満ちた僕の歌の呻きが、君に届くだろう。ニーナよ、君にあげた口づけを思い出して！

君なんかもう：僕たちが逢った日をまだ憶えているかい。僕たちは愛し合い、君の傍で夢を見た。しかし君の言葉は偽りだった。僕は君の口づけを求めないし、君のことを考えもしない。君なんかもう愛していない。

私の歌：私の歌は甘いささやき。冷たい空気の中で、貴方のもとへ飛んでゆく。私の歌は溜め息をつきながら貴方の窓の所でそっと消える。貴方がひとりで眠っている今、私の歌は愛のときめきなのだ。

忘れな草：“帰れソレントへ”の作曲者として有名なデ・クルティスの民謡“忘れな草”をテーマにした1959年の音楽映画で、世界的テノール歌手のタリアヴィーニが出演して歌い有名になりました。

カタリ・カタリ：カタリとは恋人カタリーナに呼びかける愛称です。“つれない心”の邦題でも知られ、いとしい恋人カタリーナと過ごした日々を想い、はかない夢だったと歌います。

オーソレミオ：1898年「ピエディ・グロッタ歌謡祭」の準優勝曲です。恋人を青空に輝く太陽にたとえ“私の太陽よ”と輝くような美しさを情熱的に表現します。



米澤 傑◆テノール

Suguru YONEZAWA, Tenor

鹿児島大学医学部卒業。鹿児島大学名誉教授(医学部・病理学)。医学博士。キラメキテラスヘルスケアホスピタル トータルウェルネスセンター・センター長。鹿児島市医師会病院 病理部・顧問。

松本美和子氏に師事。日本クラシック音楽コンクール声楽部門第1位およびグランプリ。太陽コンコロソ・カンツォーネ・イタリアーナ優勝、「鹿児島県芸術文化奨励賞」受賞。「蝶々夫人」や「カルメン」の主演、ベートーヴェン「第九」、ヘンデル「メサイア」、ヴェルティ「レクイエム」、ロッシニ「スタバト・マーテル」、メンデルスゾーン「最初のワルプルギスの夜」等のソリストを務める。ルーマニアで「最高のテノール」、東京で「マリオ・デル・モナコの声を持つ医学部教授」と話題になる。世界的名テノールのN.マルティヌッチやG.ジャコモニーとのジョイントリサイタルでは、ニューヨークの音楽記者が「米澤の歌った「清きアイーダ」の最後の高音は、メトロポリタン歌劇場でも聴いたことのない素晴らしいものであった」と世界中に発信。イタリアと日本でのオペラ「トゥーランドット」のカラフ王子役、上皇后陛下のご臨席を賜ったサントリーホールでのモーツァルト「レクイエム」のソリスト、「第九」アジア初演記念「よみがえる第九」のソリスト、松本美和子リサイタルでの「オテロ」二重唱、「かぎん くつろぎトーク&コンサート(TVキャスター草野仁氏とともに)」、徳島、大阪、鹿児島での「米澤傑テノール・リサイタル」などのいずれの公演でも高い評価を得る。

NHKの「第九をうたおう」(指揮:井上道義)、FM名曲リサイタル、芸術劇場「二つの顔をもつ音楽家」、ならびにラジオ深夜便に出演。湘南クラシックサロンに出演。

日本病理学会で最も名誉ある「日本病理学賞」受賞。「高松宮妃癌研究基金助成金」受領。

各種がんマーカー等の論文の著者世界ランキング第6位(日本人

第1位)にランクイン。

CD「誰も寝てはならぬ/米澤傑テノール・オペラアリア集(G.ステューファノ指揮/ソフィア国立歌劇場管弦楽団)」は、ヒットチャートでたびたび第1位を取得(検索:楽天市場 米澤傑)。

■ホームページ:「傑作の会」URL: <http://kessaku-no-kai.com/>



米澤悦子◆ソプラノ

Etsuko YONEZAWA, Soprano

鹿児島大学教育学部音楽科(ピアノ専攻)卒業。国内外での米澤傑のコンサートでのピアノ伴奏で高い評価を得る。声楽を松本美和子氏に師事。日本クラシック音楽コンクール声楽部門入選。鹿児島モーツァルト協会でのリサイタル、モーツァルト「戴冠ミサ」のソリスト、各地での米澤傑とのジョイントリサイタル、日本病理医フィルハーモニー演奏会、Kagoshimaカンツォーネ協会演奏会等で大好評を博した。



今岡淑子◆ピアノ

Yoshiko IMAOKA, Piano

相愛大学卒業、同大学ピアノ研究生修了。ソロのみならず、伴奏者としての信頼も厚く、多数の演奏会やNHK-FMに出演するほか、CD録音に参加する等、幅広く活躍している。音楽現代新人賞、宝塚ベガ音楽コンクール第3位、京都芸術祭最優秀伴奏者賞受賞。また、指導者としてピティナ「特別指導者賞」、日本クラシック音楽コンクール「優秀指導者賞」、ベートン音楽コンクール「優秀指導者賞」等の受賞も多く、演奏・指導の両方で高い評価を得ている。

現在、武庫川女子大学音楽学部教授。兵庫県立西宮高等学校音楽科講師。



米澤 傑 テノール ライブ

誰も聴いたことのない歌声!

世紀のテノール 米澤 傑
白熱のライブ

(音楽プロデューサー 中野 雄)

税込定価 ¥2,000



米澤 傑 テノール・オペラアリア集

聴け、これがテノールだ!

一級のテノールをきいたときだけに
味わえる至福の瞬間!

(音楽評論家 黒田恭一)

税込定価 ¥3,143



DVD「トゥーランドット」

—ベリオ版・日本初演—

総監督:畑中良輔

指揮:若杉 弘

演出:栗山昌良

カラフ王子:米澤 傑

税込価格 ¥2,096

検索「楽天市場 米澤傑」